

一般社団法人 日本計量生物学会
2019年度事業報告（第4期）
2019年1月1日～2019年12月31日

会長 松井茂之
庶務理事 大橋靖雄, 寒水孝司

1. 学会の動向

日本計量生物学会は、16名の理事と2名の監事、および各種委員会の運営により、2019年度の活動を終えた。ただし、2019年4月15日に佐藤俊哉氏が理事（国際担当）を辞任し、2019年10月10日に大門貴志氏が理事（国際担当）に就任した。2019年12月31日現在の会員の数は778名である（国内正会員399、国内名誉会員2、国際正会員296、国際名誉会員5、学生会員68、賛助会員8）。

2. 出版編纂事業

(1) 計量生物学の発行

39巻2号（原著1、総説2）（1月）、40巻1号（原著2、総説1、訂正1）（8月）を発行した。

(2) 会報の発行

129号（2月）、130号（7月）、131号（11月）を発行した。

3. 内外学界交流事業

次の大会とセミナーを開催した。

(1) 年次大会

日程：5月16日（木）、17日（金）

会場：神戸大学医学部会館シスメックスホール

チュートリアルセミナー「関数データ解析」

特別セッション1「臨床・疫学研究におけるがん登録情報の利活用」

特別セッション2「私と計量生物学」

参加者 236名

(2) WNAR（北米・カナダ西海岸リージョン）年会（共催）

日程：6月23日（日）～26日（水）

会場：Embassy Suites by Hilton Portland Downtown（米国オレゴン州ポートランド）

招待セッション1「Recent Advances on Causal Inference in Observational Studies」

招待セッション2「Recent Advances and New Directions in Prognostic Prediction」

(3) 統計関連学会連合大会

日程：9月8日（日）～12日（木）（8日はチュートリアルセッションと市民講演会）

会場：滋賀大学 彦根キャンパス

日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

日本計量生物学会シンポジウム

「疾患レジストリデータを活用する臨床試験デザインと統計解析法」

参加者総数 延べ 1,114 名

（チュートリアル参加者数 143 名，市民講演会参加者 174 名，大会参加者数 797 名）

(4) 計量生物セミナー

日程：11月14日（木），15日（金）

会場：ビジョンセンター東京八重洲南口・Vision Hall

テーマ：アダプティブデザイン国際シンポジウム「アダプティブデザインとその応用」

参加者 136 名

4. 会員関係事業

(1) 賞の授与

次の賞を授与した。

学会賞 該当者なし

功労賞 佐藤 俊哉（京都大学）

奨励賞 井桁 正堯（兵庫医科大学），奥井 佑（九州大学）

(2) 各種委員会の活動

社員総会（3月19日）と会員総会（5月16日）を開催した。対面理事会（2月1日，3月16日，5月16日，9月9日，12月13日）を開催した。その他，メール理事会，各種委員会（編集，広報，企画，試験統計家）を適宜開催した。

5. 試験統計家認定制度

2018年度責任・実務試験統計家 認定通知・証書授与，公表を行い，2019年度責任・実務試験統計家認定制度を開始した。試験統計家認定制度講習会（9月7日（東京），11月23日（京都））を開催した。

6. 国際計量生物学会日本支部としての活動

国際計量生物学会の会報（Biometric Bulletin）にて日本支部の活動を報告した。

7. その他

- (1) WNAR (北米・カナダ西海岸リージョン) 年会への若手会員の参加に対して奨学金の補助 (1 件) を行った.
- (2) 会費長期滞納者への対応を行った.
- (3) Bulletin of the Biometric Society of Japan を電子化して J-STAGE で公開した.
- (4) 会員名簿 (web 版) を作成した.

以上